

平成26年3月31日

平成25年度 第2回教育課程編成委員会

開催日時

平成26年3月31日

参加委員

常翔学園大阪工業大学工学部空間デザイン学科特任教授
株式会社近創経営企画部課長
大阪市立デザイン教育研究所准教授

教育課程編成委員会次第

○来年度教育課程編成案

編成案は、前回の会議で以下のご指摘をいただきました。重点的に考慮のうえ、案を作成いたしました。

- ①目標達成に向けての負荷に耐える学生を育てる。
- ②目標に向けて創造的に行動できる学生を育てる。

①について

ポートフォリオ制作1. 2を早期かつ短期に制作し、外部講師の先生を複数、招聘して厳しい助言をいただき、3週間程度で反映させる。

②について

デザイン思考やロジカルシンキングなどを中心に個人が備えるべきマナー、デザイナーマインド、造形技術を獲得させる。さらに、プロジェクトでグループワークでの思考技術を身に付けさせつつ、個人技能の水準についての気づきを目標にする。

○委員

企業では、創造的に行動できる社員に向けての能力開発のために、人材育成計画にもとづいて定期的に職場の異動や職務の変更を行う「戦略的人事異動（ジョブローテーション）」を行ってきた。VMD職も店頭に立つところから初める採用から、様々な部署との共業体験から始める方法になり、指揮系統も安定化のために店

長指示から副社長指示に変更している。仕事内容もアパレルのみからセレクトショップ的に品数が増えたため、社内ルールを作り指導者が新人の現場をクルーズし、指示、指導する。足元に物（ストック）を置かないで、バックヤードに売り場からのアクセスを考えた位置で立体的に収納する計画を立案する。共同体験の中で社内ルールをもとに系統的に、細部にも気を配りつつ指導を加えることになる。

まずは元気な表情で相手と接することができるようにすることが大切。大学では長期的に、目標達成に向けての負荷に耐え、創造的に行動できる学生を育てる。年数が2年しかない専門学校では作品の準備に限界があり、高校との連携が鍵となる。